平成　29 年度

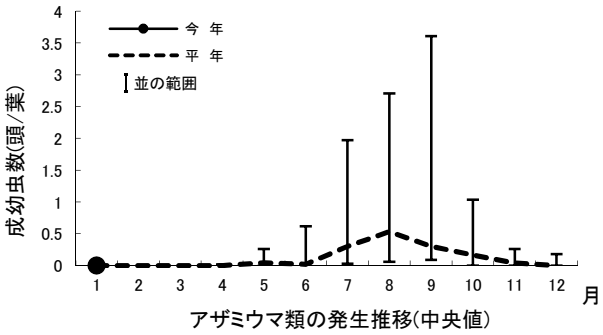
作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
1 月の発生量（現況）	並		
2 月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫及びトラップの誘殺虫数の平年の発生推移から、1月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

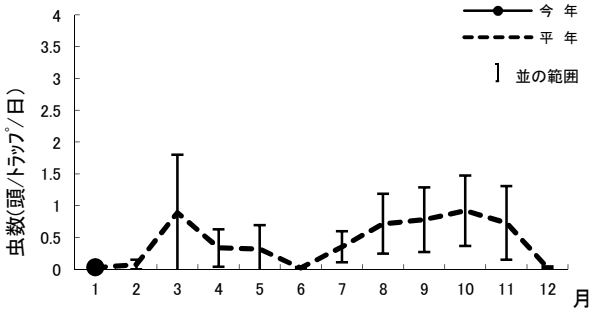
・ 1月下旬の調査の結果、葉当たり成虫・幼虫数(中央値)は0頭(前年0頭、平年0.8頭)と平年並であった。

・ 1月の黄色粘着トラップへの日・トラップ当たり誘殺虫数は0.1頭未満(前年0.1頭未満、平年0.1頭未満)と平年並であった。

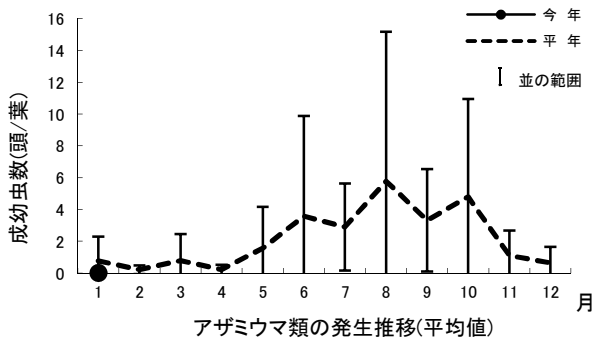
(今年のデータ)



アザミウマ類の発生推移(中央値)

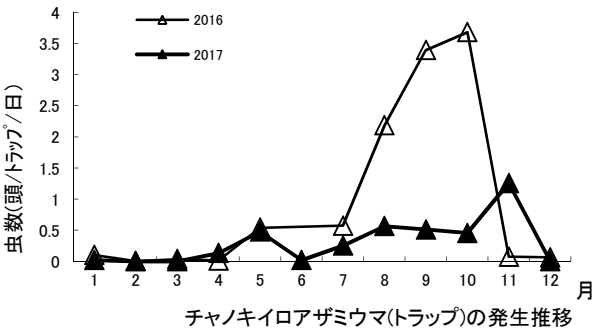


チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移



アザミウマ類の発生推移(平均値)

(過去2年のデータ)



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

防除のポイント

・キダチコミカンソウなど、発生源となる施設内外の雑草を除去する。

・出蕾・開花期における本種の増加を抑制するため、ビニール被覆前後に予防散布を行う。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・不要な新梢は、施設外に除去する。

・平成29年度病害虫発生予報第５号（平成29年７月27日付）コラム参照。

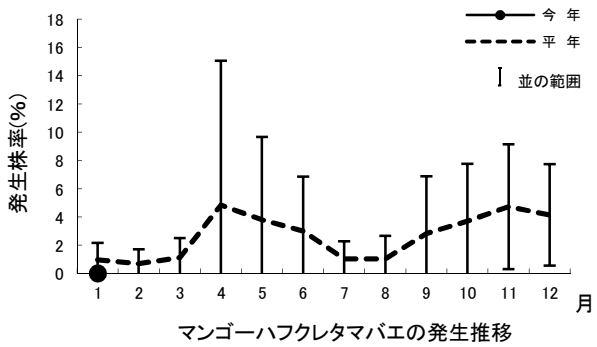
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	マンゴーハフクレタマバエ		
1 月の発生量（現況）	(発生なし)並		
2 月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	発生株率の平年の発生推移、新梢の発生がほぼ終息していることから、1月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

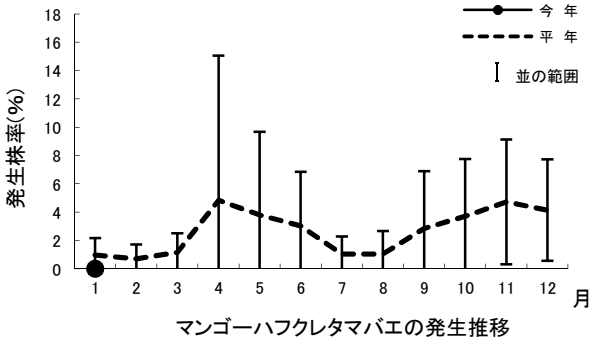
・ 1月下旬の調査の結果、発生株率は0%(前年0%、平年1.0%)と平年並であった。

(今年のデータ)



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

(過去2年のデータ)



マンゴーハフクレタマバエの発生推移

防除のポイント

・幼虫は、新葉から新梢の軸までの柔らかい組織内に潜行して食害し、成熟すると飛び出し、地面に落下して蛹化する。

・平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。

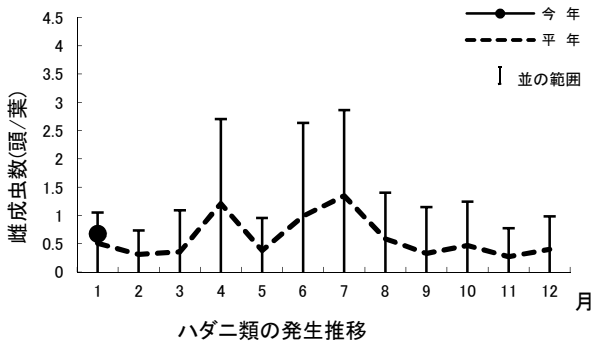
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	宮古群島
病害虫名	② ハダニ類		
1 月の発生量（現況）	並		
2 月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年の発生推移から、1月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

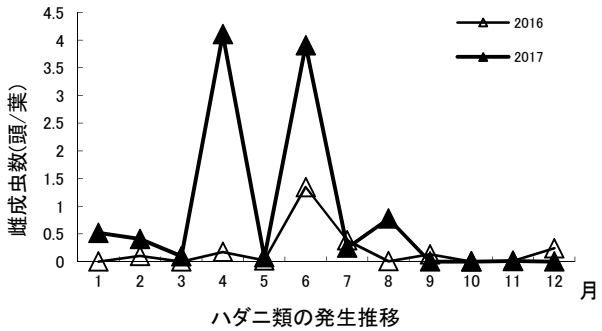
・ 1月下旬の調査の結果、成葉の葉当たり雌成虫数は0.7頭(前年0.5頭、平年0.5頭)と平年並であった。発生種はシュレイツメハダニ、マンゴーツメハダニであった。

(今年のデータ)



ハダニ類の発生推移

(過去2年のデータ)



ハダニ類の発生推移

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・平成29年度病害虫発生予報第5号(平成29年7月27日付)コラム参照。